

第14回群馬県世界遺産専門委員会 議事概要

1. 日 時：令和6年3月7日（木）10：00～12：00
2. 場 所：群馬県庁29階 292会議室
3. 出席者：【委 員】荻谷委員長、岡田副委員長、鈴木委員、小林委員、牧野委員
【助言者】西主任文化財調査官（文化庁文化資源活用課）
村田委員長（史跡高山社跡保存整備計画策定委員会）
【事務局】群 馬 県：地域創生部長ほか11名
富 岡 市：富岡製糸場課長ほか5名
伊勢崎市：文化財保護課世界遺産係長ほか2名
藤 岡 市：文化財保護課係長
下仁田町：教育課文化財保護課長補佐ほか1名
【説明者】国土交通省関東運輸局、一般社団法人創造遺産機構

4. 報告事項

令和5年度来訪者WEBアンケートの結果

各資産及び群馬県世界遺産センター（セカイト）への来訪者に対して実施したアンケート調査の結果（速報値）について、事務局から報告した。

5. 議 題

（1）遺産影響評価運用マニュアルについて

- ・ 各資産が置かれている自然災害リスクを把握するため、ハザードマップを掲載するとともに、災害時における資産への影響を記載した方がよいとの前回委員会での意見を踏まえて作成した図について事務局から説明。
- ・ マニュアルは修正後、別途世界遺産協議会へ諮った上で運用を開始することについて委員から了承が得られた。

【委員等からの主な質疑・意見】

- ・ 災害が最大規模だった場合に具体的に資産にどのような影響があるかという記載がないので、追記した方がよい。
- ・ 自然災害リスクについては包括的保存管理計画にも掲載されているため、遺産影響評価運用マニュアルに記載している趣旨をわかりやすく示した方がよい。

（2）群馬県世界遺産協議会のあり方の見直しについて

- ・ 当該協議会の構成員の見直しについて事務局から説明。
- ・ 包括的保存管理計画の名称については別途検討をすることとした上で了承が得られた。

【委員等からの主な質疑・意見】

当該協議会において包括的保存管理計画の改定を行うとのことだが、包括的保

存管理計画の名称が内容を十分に表していないのではないか。例えば、包括的保存管理整備計画や包括的保存管理活用計画という名称の方がよいのではないか。

6. その他

(1) 世界遺産登録10周年記念事業（案）について

県及び構成資産の所在地である4市町（富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町）から現在検討している事業の概要について情報共有。

(2) レガシー形成事業について

国土交通省関東運輸局及び一般社団法人創造遺産機構から説明。

【委員等からの主な質疑・意見】

- ・ 事業を開始すると遺産影響評価や文化財としての現状変更など様々な事項が付随してくるため、柔軟性のある事業計画とする必要がある。
- ・ 事業の検討を進めるにあたっては、行政とよく相談すること。
- ・ 富岡製糸場だけでなく、ほかの3資産（田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴）も活用した事業が望ましい。

（以上）